



皆さん、おはようございます。

今日で1学期が終了します。皆さんにとってどんな学期だったでしょうか。コロナへの対応も変わり、生活様式も一年前とは大きく変わりました。今日の終業式はリモートで行っていますが、集会も全校生徒が集まれるようになりました。今後もこのような学校生活が続けられるよう、一人ひとりが感染予防を図りながら学校生活を送ってください。

さて、始業式はどんな話だったか覚えていますか。

「基本に戻る」そして心に余裕を持って、流れ・運を呼び込むということをお大谷翔平選手が試合中にグラウンドのゴミを拾うという例を挙げて、基本を大切にチャレンジしてほしいという話をしました。

皆さんの今の状態はどうでしょうか。心に余裕を持つことはなかなか大変だとは思いますが、「基本に戻って考える」ことはできると思います。迷ったり、困ったときには少し目先や物の見方を変えると何か違ったことに気付くかもしれません。いろいろ試してみてください。

今日のはじめに、この1学期にあったことについての話をしていきます。

まず、自転車に関係する事故についてです。先生方からも注意があったことと思いますが、今学期入って、登下校中の自転車事故の報告を数件受けています。相手方自動車や自転車との接触、また本人の運転ミスなど様々ですが、昨年と同じ時期より増えているようです。おそらく、学校に報告されていないものもあると思います。まだヘルメットを被っている生徒も少ないようですが、県内では自転車による高校生の死亡事故も発生しています。事故には十分注意してください。そして万が一、事故に遭遇してしまった場合は必ず、警察に連絡してください。事故に遭ったその時は怪我がないようでも時間が経つにつれて、症状が出てくる場合もあります。そのような時に警察に連絡をしていないと後々相手方とトラブルの原因になる場合があります。小さな事故であっても必ず警察に連絡をしてください。現在の登校の様子を見ていると遅刻ギリギリで自転車を飛ばしてくる人もいますが、非常に危険です。特に朝は通勤、通学で急いでいる人が多いので時間に余裕を持って行動できるように習慣づけてほしいと思います。また、交通マナーに対する近隣からの苦情もきています。非常に残念なことです。ルールをしっかり守って行動してください。それとは逆に礼の連絡もいただきました。先週、倒れていた男性を本校の男子生徒が飲み物を買ってきてくれるなど介抱してくれたそうです。素敵な行いだったとこのことで電話をいただきました。このような素晴らしい生徒がいることを誇りに思います。困っている人がいたら手を差し伸べる、当たり前のことではありますが、いざ実行するとなると難しいかもしれません。皆さんにもそのような優しい心を持ってほしいと思います。

次に部活動等です。

私も時間の許す限り、活動の様子や試合、展覧会などを見させてもらいましたが、今年もどの部活も活発に活動し、成果を上げていたと思います。全国大会・関東大会出場や展覧会での入賞などの結果も残しました。この頑張りは必ず今後につながります。夏季休業中も大会や発表会等があったり、またそれに向けて活動が行われると思います。さらに学

習面では夏季補習があり、外国語科の2年生は明日、「東京グローバルゲートウェイ」への語学研修、1年生は26日（水）からブリティッシュヒルズへのサマーセミナーがあります。それぞれ忙しくなると思いますが、時間を有効に使って頑張ってください。

さて、1学期の成績結果ですが、成績優良者（1年生4.3以上）は1年生は25人、2年生（4.3以上）50人、3年生（8.0以上）は52人でした。2学期はより多くの皆さんが優良者になれるよう頑張してほしいと思います。

それでは、

- （スライド2） 今日「第一印象」という話をしたいと思います。
- （スライド3） よく、「人は見かけで判断してはいけない」とか「人は見かけでならない」とかとも言われますが、果たしてそれは本当なのだろうか？ そうでないにしても見かけによって何か損はしていないだろうかということです。
- （スライド4） 「面接」を例に挙げますが、ここにあるように、面接官も気づいていない“面接は「第一印象」で決まっている”というものです。今後、入試で面接もある生徒も多いでしょうから、参考にしてもらえたらと思います。
- （スライド5） 第一印象のメカニズムですが、「初頭効果」と言って、最初に提示された情報に強く影響される心理的な傾向であり、初めて対面したときの身だしなみや表情、言葉使いといった第一印象が、その人のイメージとして残り続ける。というものです。そしてその「第一印象は変えられず無意識のうちにどんどん膨らんでいく」というものです。これは特別なことではなく、人が誰でもが持っているもので無意識のうちに勝手に感じてしまうというものです。（例）何か買い物に行ったとき、最初に見て気に入ったものはとてもいいものとして欲しくなるなど。
- （スライド6） この「メラビアンの法則」ですが、  
言語情報が 7% 聴覚情報が 38% 視覚情報が 55%のウエイトで影響を与えるという心理学上の法則ですが、
- （スライド7） これは「矛盾した情報の中でどの情報が優先されるか」という条件の中でのものとなっているので、詳しく知りたい人は各自で調べてみてください。
- （スライド8） 話を戻しますが、このように第一印象が良いと、すべてが「良く」感じてしまい、ミスがあっても「たまたまだろう」と自分がいいように感じてしまいます。
- （スライド9） 逆に第一印象が悪いといくらいいことを言っても、人は無意識のうちにダメな理由を探してしまいます。一回こうなってしまうと短時間では挽回できません。

- (スライド10) 第一印象で7~8割が決まり、その時間は30秒と言われています。書物によっては3秒と言われているものもあります。ですから短時間の面接などでは「ワンチャンス」であると考えたほうがよいでしょう。
- (スライド11) まとめますが、「身だしなみ」「笑顔」「挨拶」は3大要素と考えてください。  
「身だしなみ」つまり第一印象は内容すらも変えてしまうことがある。  
「見かけではない」は長く付き合ってからわかるものであるということ。そして「笑顔」と「挨拶」は大切です。
- 以上「第一印象」の心理的効果についてお話しましたが参考になればと思います。
- (スライド12) 休業中も生徒の皆さんそれぞれが自覚を持ち、有意義な夏季休業としてください。以上です。



創立50周年記念キャラクター  
「りーみん」